災害時にはみんなの力で！

にかほ市防災訓練

9月25日、秋田県沖100㎞、マグニチュード7・7、震度6強の地震を想定した、にかほ市防災訓練が実施されました。

当日は、工場火災防御訓練のほか、小学校での避難訓練や県防災ヘリ「なまはげ」による水難救助訓練など、町内会の代表ら多くの視察が訪れるなか行われました。

また、朝6時からは各町内会でも自主訓練が行われるなど、突然の災害に対する備えや対処などを改めて考えさせられる1日となりました。

▲平沢小学校では防災頭巾をかぶって避難

▶化学物質の漏えいを想定した訓練も行われた（ねむの丘）

▲TDK稲倉工場では避難訓練のほか、職員による初期消火も実施

◀県防災ヘリによる水難救助訓練（金浦漁港）

水産資源の再生に願いを込めて

～金浦漁港で第15回放流式を開催～

9月2日、秋田県漁業協同組合南部統括支所（金浦漁港）で秋田県栽培漁業協会主催による第15回放流式が行われました。

この日は、県栽培漁業協会理事長、県漁業協同組合長、県水産振興センター所長や地元漁業関係者が出席し、大漁と海上安全を祈願する神事の後、出席者と地元小学生、金浦サッカースポーツ少年団らが、マダイやヒラメ、トラフグの稚魚を放流しました。子どもたちは、「大きくなって帰ってきて」と稚魚に声をかけ、水産資源の再生を願っていました。

レベルの高い演奏で観客を魅了

～南極フェア2006海上自衛隊大湊音楽隊演奏会～

9月9日、金浦南極広場水上ステージで2006南極フェア「にかほ市吹奏楽の夕べ」と題し、海上自衛隊大湊音楽隊による演奏会が行われました。

大湊音楽隊は、むつ市（青森県）を拠点に、北海道・青森・秋田・岩手の1道3県にわたり幅広い演奏活動を行っており、この日も多くの観客らがレベルの高い演奏に聞き入っていました。

また、約15分ほどの日本一短い花火大会も行われ、短くもきれいに打ち上げられた花火が夕暮れの空を彩りました。

さらなる柔道の発展へ向けて

～にかほ市柔道会が9月10日発足～

9月10日、旧3町柔道同好会と柔友会が合併して、にかほ市柔道会となり、設立総会が開催されました。

総会では会長に渋谷重雄氏（平沢）、副会長に金二氏（妙見町）と越川幸一氏（踏切1区）が選出され、会員総数53名のにかほ市柔道会が新たに発足しました。

柔道会は、小・中・高校生の柔道指導育成と会員相互の親睦や交流を図り、豊かで健康的な生活を送ることを目的とした活動を行います。

また、この日は記念の紅白戦が武道館（平沢）で行われ、3人勝ち抜きの選手9名に金メダルが贈られました。

みんなで子どもを守ろう！

～「うごく　こども110ばん」シール～

このほど㈳本荘法人会女性部会では、「うごくこども110ばん」シールを作成し、地域の安全を働きかける活動をスタートしました。

このシール活動は、幼い子どもたちが犠牲になる事件が増加している今、地域の安全への取り組みの一翼を担いたいと発案されたもので、本荘由利地域の700以上の会員企業の営業者や会員個人の自動車に貼るように呼びかけ、「みんなで子どもを守ろう」という意識の醸成を実践しています。